

学校の現状

- 少人数で落ち着いた学校環境
- 毎年の入学者数が10名未満
- 様々な支援を必要としている生徒
- 「3S」の生徒支援等による生徒の確かな成長
- 町行事やボランティアへの参加など地域密着型

学校の課題

- ① 定時制課程存続に向けた生徒確保
- ② 学習意欲及び学力向上に向けた授業の工夫改善が必要
- ③ ストレス対処や人間関係構築、自己肯定感の育成等、生徒の心理面へのより一層の支援が必要
- ④ 生徒が振り返り(ポートフォリオ等)を生かし、ステップアップできる具体的な取組が必要
- ⑤ 生徒の自己肯定感や挑戦心を高めることが必要
- ⑥ 特別支援教育の視点からの支援が必要
- ⑦ キャリア教育のより一層の充実が必要

校訓 克己

【学校教育目標】

- 1 新たな価値を創造する力、知恵を持つ生徒を育てる
- 2 主体的に人生を切り拓く力、市民性を持つ生徒を育てる
- 3 心豊かで他者を思いやる力、共にはたらくことのできる生徒を育てる

【重点目標】

- 1 自ら考え、判断し、主体的に行動ができる生徒の育成
- 2 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けた生徒の育成
- 3 気力・体力を養い、活気ある明朗な生徒の育成

【学校経営方針】

オホーツク遠紋地区の伝統校として、生徒、保護者、そして地域の期待に応える学校づくりを進めるため、次の事項について重点的に取り組み、教育の質を高める。

- 1 確かな学びを実現する教育課程の編成・実施
- 2 前向き思考を育成する実践
- 3 社会に開かれた教育課程の実践

保護者・地域の本校への期待

- 落ち着いた雰囲気中で、自分のペースで高校生活を送ることができる。
- 遠紋地区唯一の定時制課程である。
- 学び直しのできるリカレント機能を有する。

校長のビジョン

【目指す学校像】

- 1 誰もが通いたいと思う学校
- 2 入学して良かったと思われる学校
- 3 地域から一層応援してもらえる学校

【育成する生徒像】

- 1 自ら考え、判断し、主体的に行動ができ、活気ある明朗な生徒
- 2 失敗を恐れず何事にも挑戦し、互いに高め合い意欲的に取り組む生徒
- 3 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けようとする生徒
- 4 望ましい職業観・倫理観や市民性を身に付け、進んで奉仕活動に携わる生徒

重点の取組

確かな学びを実現する教育課程の編成・実施

- ① 基礎的・基本的な学力の定着に向けた教員研修の実施
- ② 学習意欲向上に向けたアプローチ等を工夫した実践
- ③ 生徒が学力向上を実感できる場面(アウトプット)の設定

【評価の観点】

- ① 個別研修を含め教員研修を3回以上実施した。
- ② 学校評価アンケートにおいて学習意欲が向上したとの回答が3.5ポイント以上となった。
- ③ 生徒が学力向上を実感できる場면을教科・科目等において複数回設定した。

前向き思考を育成する実践

- ① 各種調査による生徒の心身の状態を踏まえた支援の実施(support)
- ② 各活動における生徒の振り返りを活用し、次に生かす実践(step up)
- ③ 生徒の体験や地域の人との関わりなどの場の設定(experience)

【評価の観点】

- ① 各種調査等により生徒の心理面が改善した。
- ② ポートフォリオ等により生徒のプラスの記載が増加した。
- ③ ボランティア活動や地域のイベントの手伝いなど昨年度と同等以上の場を設定した。

社会に開かれた教育課程の実践

- ① 学校運営協議会を活用した学校経営の工夫改善の実施
- ② SNS等による積極的な情報発信
- ③ 地域と連携したコンソーシアムの設置及び定時制課程存続への組織強化

【評価の観点】

- ① 学校運営協議会及び各グループの会議を年3回以上開催した。
- ② SNSのフォロワー数等が昨年度より増加した。
- ③ 中学校訪問に加え、町民に対して定時制課程を説明する機会を複数設定した。